

月刊

地球が与えてくれた贈り物を大切にリサイクル社会の実現をめざしたい

No.124 2005. 1

<http://www.recycledesign.or.jp>
Eメールmail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザイン

特集

第10回リサイクルデザインフォーラム

パネルディスカッションレポート

教えて聞かせて p3

出前講師は
今日も行く!



- リサイクルデザイナー P6
- ただいま子育て奮闘中! P7
- エコクッキング p8

リサイクル産業の真実 ～私たちの望むべき 環境報道とは～

10月31日に開催したフォーラムでは、“大人のパネルディスカッション”を行いました。リサイクル産業のかかえる課題や将来への展望について話し合い、私たちが望むべき環境報道の姿を模索しようという目的で。横浜という地域から地球へ、そして、現在から未来へ。空間と時間の壁を越えて、どんなことを提案できるでしょう。

これからの 環境報道の あり方

■武松 いよいよ春からは、市内全域で10分別15品目の細かな分別収集が始まります。これまで、この業界はリ



武松さん

サイクルや環境問題に関心のある人たちと主に関わっている感じがしたが、これからは、関心が薄かった人たちとも関わるようになっていくでしょう。この場合メディアの影響はかなり強いと思われ、そうになると、情報が正確に伝わるか否かは大きな関心事です。環境報道はいかにあるべきか、ということについて考えていきたいと

思います。■寒河江 私は長年ラジオやテレビの制作に携わってきましたが、ラストワークは環境についての番組だと思っています。現在手掛けているのは『生きる、今、環境』という番組なんです。この業界は何と言っても視聴率が重要なんですね。共鳴してくれるスポンサーを見つけることが必要なんです。また、行政やメディアと市民の間にある温度差を埋めていく作業も、私たちの努めだと思っています。環境は今世紀最大で緊急な問題ですから、こういった組合の

みなさんと手を組んでやっていきます。報道の送り手として、批判を受ける立場にあるということを肝に銘じつつ。

■松浦 私はリサイクル工場をあちこち見学、取材させていただき、作業する方々のたいへんな様子を目の当たりにしています。もう少し出すときに気をつければ良いのに、と何度思ったか知れません。近所の友人にも本当は「出し方をちゃんとしてね」と言いたいのですが、なかなか口に出せないの、言いたいことをリサイクルデザインの誌面に書いているんです。これは口コミ、ミニコミの働きですね。マスメディアに要求したいのはリサイ



松浦さん

クルばかりでなく、もっとリデュース、リユースも取り上げてほしい、ということです。■山本 私は3つの視点からお話しします。まず、環境問題やリサイクルの状況は目まぐるしく変わっています。なのに、メディア側は正確にそれをつかんでおらず、誤解を招くような報道が実際に行われています。絶えず変わり続ける状況をつかみ取っていくことが大切ですね。二つ目は、リサイクル業



寒河江さん

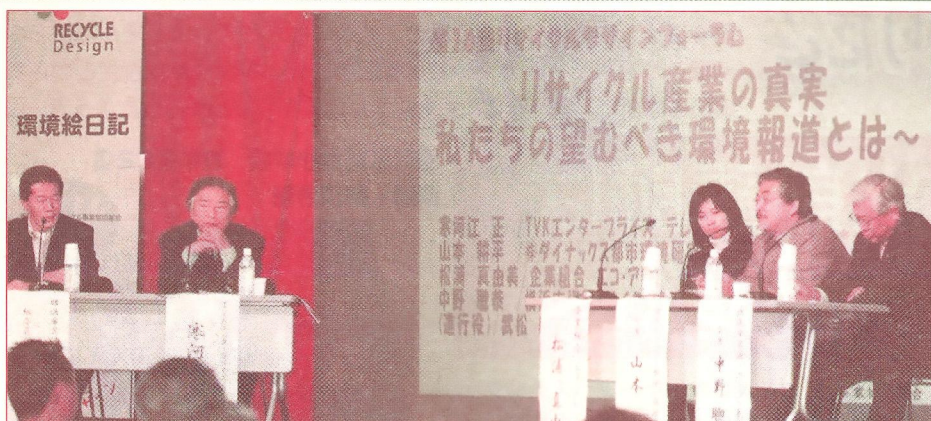
界の全体像をわかっている学者は、今、日本中を探しても一人もいない、と言ってもいい現状が問題だということ。行政が政策を立案する時に、この、わからないという点が一番大きな問題です。だから、業界は全体像を理解してもらうための情報をもっと提供する必要があります。最後に、メディア側の問題点は、あまりに固定的な観点からこの業界を見ているため、バイアスのかかった報道に偏っていることです。記者が、もっと寒河江さんのように熱意をもって学んでくれたら良いのですが、この勉強不足はメディアの大きな問題だと思います。

■武松 業界からの発信は、私たちの課題ですね。

■中野 この業界はしかし、情報発信に慣れていないんです。また、情報は刻々と変わるということだけでなく、リサイクルはローカル産業だという面が多々ある点にも注目すべきです。それぞれのエリアに最適なリサイクルの形があるのに、環境という大きなテーマになると日本全国同じやり方でやろう、という動きが生まれてしまった。しかし、まだリサイクル業界はそれに対応できていない、というのが誤解を招く原因ではないかと考えます。

■寒河江 われわれ制作者、送り手が環境問題の本質的なことをもっと学ばなければ。環境に関して言えば、ひとりの力では決してできません。共鳴するスポンサーとの連携が必要です。

“からWeへ”が原点。つまり、これまでの高度成長で「オレが、オレが」と言っていたのを「仲間と一緒に力を合わせて」に変えるんです。



パネラー

- さかえ 寒河江 正
(TVKエンタープライズ テレビプロデューサー)
- 山本 耕平
(株式会社ダイナックス都市環境研究所 所長)
- 松浦 真由美
(企業組合エコ・アド)
- 中野 聰恭
(横浜市資源リサイクル事業協同組合 会長)
- 進行役/武松 昭男
(横浜市資源リサイクル事業協同組合 組合員)

■武松 勉強、がキーワードのようですね。

■山本 もう少し、組合のみなさんが自分の商売に関することだけじゃく、全体的なことを勉強なさったほうが良いんじゃないかと思います。私は大学で、

循環システム工学科の学生たちを相手に話すのですが、手応えが全くない。現場を知らないからです。逆に言うと、現場の実務をやっている人たちは、自分がふだんやっていることを元に、視

野を広げてみるというのが容易にできるんじゃないかと思います。



山本さん

情報の キャッチボール を続けよう

■武松 さて、寒河江さんにお聞きします。環境問題というと、どうしても暗いとか悪いとか、マイナスのイメージがあると思いますが、メディアのお立場からはどのようにお感じですか。

■寒河江 今、あらゆるところに亀裂が走っていますね。子どもをとりまく部分に限っても、学校、家庭……、それが全体に及んでいる。そんな今、環境問題が明るい暗い、おもしろいかおもしろくないかということじゃなくて、**本質的なこと**をきちんととらえないといけない。生きること、地球環境。なぜ今、地球環境なのか。我々は地球市民であるからです。私の作る番組は、決して派手ではありません。でも、100万人近くの人が見てくれています。東京では100万なんていう数は相手にしません。そんなの番組でないみたいと言う。まじめな少数派の活動に注目してもらうには、何年も時間がかかりますが、**継続すること**が大切だと思います。

■武松 そうですね、同感です。そういうことをいつの時代にも考えていか

なくてはいいなんですね。さて、山本さん、リサイクル業界が市民のみなさんに**“おもしろい”**と感じてもらうための情報を提供するにはどんな方法が考えられますか。

■山本 なかなか難しいですね。ただ、業界と市民がこんなに近い関係にあるというのは、全国的に見ても横浜だけなんじゃないでしょうか。非常に**先進的なこと**を、この組合はやっていらっしゃると思いますよ。たとえば、今、古紙価格の変動は、行政にとってははっきり言ってあまり関係の無いことでしょう。しかし、組合にとっては一大事です。資源の循環というグローバルな視点から見てもやはり一大事です。それを、月刊リサイクルデザインの誌面で取り上げて市民に伝えている。また、組合員のみなさんは、集団回収などの形で地域で活動されているわけで、町内の知恵を拾い集めることもできる。「あの町では、こんな工夫をしているよ」という、生活そのものに直結する生の情報を載せて読者から反響があれば、**情報のキャッチボール**ですね。行政にもマスコミにも向か

ない情報をこういうミニコミの形で続けるのは良いですね。

■武松 さて、最後に中野会長、リデュース、発生抑制が実は経済ベースに非常に左右されているという点についてお話しください。

■中野 循環型社会を進める基本的な考えの仲に3Rというのがあって、その3Rの中でもまず初めにリデュースがあって、次いでリユース、最後にリサイクル、という3段階の考え方なんです。しかし、一番初めに行なうはずのリデュースよりも、最後のリサイクルが今は主流になっているんです。現在の社会のありようが、実は**環境を破壊する方向**に進んでいるというのは間違いありません。世界は、消費をもっと伸ばさないと、と躍起になっています。消費拡大は、リデュースにつながらない。相反するものなんです。消費がリデュースにつながれば良いのですが、**経済社会の構造的な問題**ですね。

■武松 ありがとうございます。第1回の大人のフォーラムでしたが、今後も引き継いでいきたいと思います。



中野さん



教えて、聞かせて

おかげさまでひっぱりだこ

中区大鳥小学校 5年生105名

講師・武松昭男

10/7
(木)

発泡スチロールを溶かして固めたインゴットを見せると、なに？これ、と大盛況。「今のままだと、石油はあと40年ぐらいしか使えない。石油がなくなるとプラスチックができなくなって、ペットボトルもトレーも洋服も作れなくなるよ」と言うと、みんな絶句。限りある資源を有効に使わなくちゃと思ったかも。

港北区港北高校 1年生24名

講師・会田篤

10/15
(金)

総合学習のテーマ「私の未来地図」に沿って。金属と古紙のリサイクル事例を紹介し、国際交流の必要性について生徒さんたちとディスカッション。「リサイクルは経済だけで考えても、環境問題だけで考えてもうまくいかない」という結論に。

栄区千寿小学校 5年生36名

講師・戸川孝則

10/21
(木)

授業参観日だったので保護者も同伴。児童と保護者に小さなカードが配られる。ポリ袋、新聞紙、かさの骨、中身が残ったマヨネーズの容器などが描かれており、それらを各自に分別体験してもらった。「残りがあから家庭ごみ」「残りを出してからプラスチック製容器包装」「燃やせなさそうだから燃えないごみ」……マヨネーズにはいろんな回答が出ましたが、さて、正解は？

神奈川区南神大寺小学校

4年生55名 講師・栗原清剛

11/8
(月)

児童からたくさんの質問。「びん商は市内にどれくらいあるの」「リサイクル組合って何をするとところなの」「一番多くリサイクルされているのは何？もっともリサイクルできていないのは何？」「ペットボトルのふたはリサイクルされないの」「リサイクルは何に役立つの」などなど。授業終了後も講師は質問攻めに。

戸塚区南戸塚小学校

4年1組21名 講師・戸川孝則

11/9
(火)

ビデオ「未来を生み出すリサイクル」をすでに見た児童たちだけあって、カンやびんのリサイクルについてはだいぶ知識がある様子。そこで、いつもよりもペッ



出前講師は今日も行く！

トボトルに力を入れました。プラスチックの種類について話し、ペットボトルをフレーク状や粒状にしたものを見せると「だからふたを取らなくちゃいけないんだ」と納得した表情に。

戸塚区南戸塚小学校

4年2、3組57名講師・戸川孝則

11/16
(火)

「おもしろいから」という理由で、休憩もとらず90分間ずっと熱心に授業を受けてくれた子どもたち。話を進めるにつれ、リサイクルが実は身近な問題だったことに気付いたようです。リサイクルはなぜするの、と問いかけると、初めは「最終処分場がなくなってきたから」という返事だったのが「資源は大事に使わなくちゃいけないから」に変化しました。



南区永田台小学校 4年生59名

講師・戸川孝則

11/19
(金)

ひとつの質問に対し、ほとんどの子どもが手を挙げて元気に発言してくれるが、中には目が合ってもそらしてしまう子も。

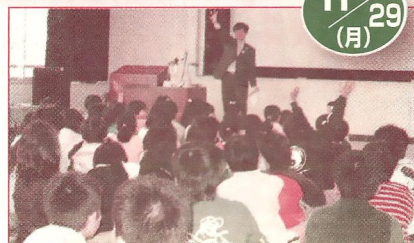
「興味がないのかな」と気になったけれど、最後に「みんなわかった？」と聞くと、元気の無かった子も人一倍大きくうなずいてくれた。聞くほうの表現方法や理解のしかたも十人十色だと肝に命じなければとあらためて思った一日でした。



港南区南台小学校 5年生62名

講師・栗原清剛

11/29
(月)



「地球が直径100cmだったとすると、私たち人間は10万倍の顕微鏡でようやく見ることができるくらい」「ごみを出さない、節約する、むだづかいしない。そんな身近で小さなことが大切」……『地球がもし100cmの球だったら』という本の一節で、私が出前講師の授業の中で必ず紹介している言葉です。小学校を担当することが多い私は「小学生の私たちでも地球を良くすることができるんだ」と思ってもらえるような授業を目指しています。南台小のみなさんは、そう思ってくれたかな。

金沢区金沢中学校

生徒代表50名、保護者1名

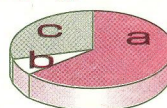
講師・戸川孝則

12/1
(水)

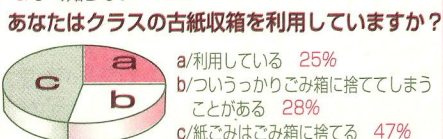
これは、学校保健委員会の生徒さんたちが学内でとったアンケートの一部です。これを見て、私たちリサイクルデザイナーは何をすべきでしょう……。報告者は、家でできる紙のリサイクルが学校でできない点に注目し、校内のリサイクルルールの徹底を図る工夫が必要だと訴えていました。

アンケートの一部

家では新聞やチラシ、雑誌などをどのようにしていますか？



あなたはクラスの古紙収納箱を利用していますか？



出前講師日記はホームページに掲載中！

「リサイクル教室」出前講師派遣のご要望はこちらへ

当組合では、地域の集まりや学校などのご要望に応じ、出前講師を派遣しています。リサイクルや、それに関連する内容についての講座を受けたい、とお考えのかたは一度ご相談ください。費用は無料です。

お申し込み・お問い合わせ/電話045-444-2531

エコライフかながわが 横浜市神奈川リサイクルコミュニティセンター 開館5周年をむかえました

11月27日に記念式典を開催

愛称：エコライフかながわで親しまれている、横浜市神奈川リサイクルコミュニティセンターは、地域の市民が自主的にリサイクル活動を進めるための、実践の場の提供や支援を行うとともに、リサイクルに関する情報提供などを行う拠点施設として、平成11年11月に開設された市内唯一の施設です。

施設の運営は「横浜市神奈川リサイクルコミュニティセンター運営活動機構」が横浜市の委託を受けて行っています。ボランティアとして登録した人たち（現在約100名）が各種リサイクル講座、イベント等を企画・運営しています。

11月27日には、開設5周年の記念式典が開催されました。式典では、エコライフかながわで活動しているボランティアのほかに、神奈川区の連合町内会長、各区の消費生活推進員や、区内の小学生、中学生、高校生などが参加しました。

式典の中で地元の三ツ沢小学校「5年3組エコライフ隊R」の子どもたちによる研究発表がありました。リデュース、リユース、リサイクルの3Rのことや省エネ、温暖化など地球環境に関するこ



三ツ沢小学校「5年3組エコライフ隊R」の子どもたちによる研究発表

とを、それぞれ班に分かれて調べたものです。子どもたちのしっかりした発表に参加した人たちは多くに感心していました。

アトラクションには、ギターの演奏があり、会場の雰囲気をもりあげてくれました。

●ジュニアG30サポーター発足式

「G30サポーター」はG30行動の普及啓発を行うボランティアとして、各区で募集し活動しています。神奈川区でも、すでに58人のサポーターの方がG30のイベントやキャンペーン等で活躍しています。この日は、区内の小・中学生や高校生が参加する「ジュニアG30サポーター」の発足式が行われ、横浜市三ツ沢小学校の児童や神奈川総合高等学校の生徒に「ジュニアG30サポーター」の隊員証が渡されました。

今後は、区内の各学校に呼びかけをして隊員数を増やし、子どもたちによる活動や情報発信がさらに広がるよう進めていきます。



横浜市リサイクルコミュニティセンター（愛称エコライフかながわ）案内



所在地：〒221-0812 横浜市神奈川区平川町3-6

TEL 045-413-3196 FAX 045-488-3463

交通案内：JR東神奈川駅より徒歩7分・東急東白楽駅より徒歩5分

開館時間：午前9:00～午後9:00

（金曜日を除き、施設利用申込みが無い場合は午後5:00まで）

休館日：第1水曜日（1月のみ第2水曜日）

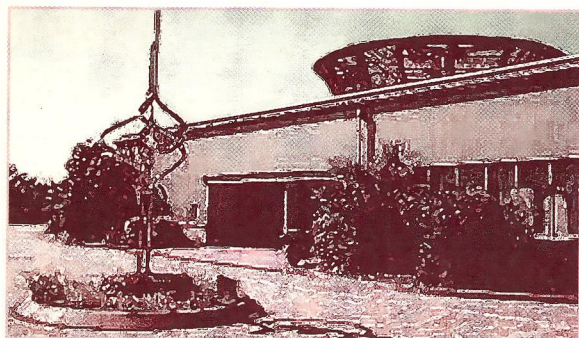
施設管理：（財）横浜市廃棄物資源公社

運営：横浜市神奈川リサイクルコミュニティセンター運営活動機構

鶴見リサイクルプラザ リサイクル講演会

2月10日(木)午後1:30~3:30

横浜市では、ごみの減量・リサクルを進めるため、さまざまな事業に取り組んでいます。こうした中で、市民の皆さんにリサイクルについて実践していただく場として、リサイクルプラザがあります。このリサイクルプラザで「リサイクル講演会」を開催します。



所在地 〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-15-1
交通案内 JR京浜東北線 鶴見駅東口または京急急行 京急鶴見駅より川崎鶴見臨港バス08系統で「ふれーゆ」下車

講演

(1)「身近な資源でリメイクファッション」

衣服のリメイク講師 金井佳世子

(2)「リサイクルの現状」

横浜市資源リサイクル事業協同組合 企画室長 戸川孝則

(3)「ごみの削減目標G30の進捗状況」

横浜市環境事業局 鶴見事務所長 毎川 隆

●日 時：2月10日(木)午後1:30~3:30

●場 所：鶴見リサイクルプラザ研修室

●募 集：先着100人

※参加者にはリサイクルせっけんなどをプレゼントします。

●参加申込み：鶴見リサイクルプラザ事務所

TEL045-521-0480

リサイクル掲示板

センターリサイクル 1月 ※品目ごとに分別を。事業系ごみは不可。

区	日・時	場所	回収品目	問い合わせ	備考
神奈川	9日(日) 午前10:00~12:00	反町公園(神奈川区役所側)	古紙・古布・プラスチック製容器包装等 (区によって品目が異なります。 詳しくはお問い合わせください)	エコライフかながわ TEL 413-3196	雨天実施
神奈川	22日(土) 午前9:30~11:00	環境事業局神奈川事務所		環境事業局神奈川事務所 TEL 441-0871/FAX 441-5938	
西	毎週土曜日 午前9:30~11:30	環境事業局西事務所 1階駐車場		環境事業局西事務所 TEL 241-9773/FAX 251-1791	雨天実施
中	15日(土) 午前9:30~11:30	横浜公園日本大通り側		中区役所ごみゼロ推進担当 TEL 224-8140/FAX 224-8215	雨天実施・車で搬入可
保土ヶ谷	15日(土) 午前9:30~12:00	保土ヶ谷区役所別館 駐車場		保土ヶ谷区ごみゼロ推進担当 TEL 334-6304 FAX 332-7409	雨天実施
旭	16日(日) 午前9:00~12:00	環境事業局旭工場		環境事業局旭事務所 TEL 953-4811/FAX 953-6669	雨天実施
金沢	毎週土曜日 午前9:00~11:00	環境事業局金沢事務所		環境事業局金沢事務所 TEL 781-3375/FAX 788-0269	
青葉	16日(日) 午前9:30~12:00	環境事業局青葉事務所 駐車場		環境事業局青葉事務所 TEL 975-0025/FAX 975-0028	雨天実施
瀬谷	15日(土) 午前9:00~11:00	環境事業局瀬谷事務所		環境事業局瀬谷事務所 TEL 364-0561/FAX 391-4784	雨天中止・車で搬入可



リサイクル意識は16年前から 失敗を乗り越え、 ビル全体で高いレベルの リサイクルを目指す



三浦さん

大滝さん

※
今回から横浜資源化協議会に加入している会社のオフィスでのリサイクルの取り組みをご紹介します。トップバッターを飾るのは、リサイクルデザインNo.105のオフィス古紙特集の時にご登場いただいた協議会の会長を務める相模鉄道株式会社取締役の三浦さんと総務担当の大滝さんです。

※横浜資源化協議会
実行本部を当組合内に置き、オフィス古紙の資源化向上を目指して古紙回収の基本的業務やリサイクルの提案をしています。

まず、リサイクルを始めたころのお話を聞かせてください。

今から17年前の1988年(昭和63年)にこのビルに移ったときに簡単な分別を始めました。各自のデスクに分別用の箱を置き、古紙とごみに分ける方法です。社員の意志に任せていましたが2,3年で頓挫してしまっただけです。まだその頃は世の中もリサイク

ルや環境について熱心ではなかったもので、きちんとした分別ができず、清掃業者の方から「私たちに任せてください」と言われてしまいました。それからしばらくは思うように分別が進みませんでしたね。それでもコピー用紙の裏紙を必ず使うなどの努力はしていましたが、



分別に迷った時のための「迷い箱」

現在の取り組みはどうなっていますか？

このビルは、関連会社7社が入っている複合ビルなのですが、それぞれの会社で環境に対する意識の持ち方が違うのでビル全体で足並みを揃えるのが難しいのです。そこで、まずは本社である私たちからしっかりリサイクルに取り組まなければと考え、昨年の10月からG30を視野に入れて新たな気持ちで分別に取り組んでいます。まずは何がどのくらいリサイクルされているか現状を把握することから始めました。出てきた数字を見てリサイクル率の低さにびっくりしましたが、それがまたやる気にもつながりましたね。

具体的には、フロアの指定の場所に紙を5種類に分別するためのボックス

を置きました。コピーなどの紙はOA化にともなって全体的に減ってきていますし、紙類はこれまでも分別していたので、試行錯誤はありますが混乱はないようです。また、廊下には缶、びん、ペットボトルなど、ごみの分別用のボックスも置

きましたし、分別に迷った時のための「迷い箱」を創りました。迷い箱に入っただけでは清掃業者にしっかり分別して回収してもらっていません。社員も家庭での分別が進んでいることもあって、無理なく順調に滑り出しているようです。

これからこういった姿勢で環境に取り組んでいこうと考えていますか？

環境会計にも着手しました。また、電車、バスの運輸部門、住宅部門、コンビニエンスストア等の流通部門など、それぞれの事業部門でごみの分別収集はもちろん、車体の軽量化や低公害車の導入、切符をトイレトーパーにする、お弁当の急

速冷凍による保存システムで廃棄を減らすなど、得意分野でリサイクルや環境に取り組んでいます。本社ビルでも、いずれはビル全体が同じ意識のもとで高いレベルのリサイクルに取り組めたらと思っています。今はその一歩を踏み出したところです。

環境を考えるなら、
まず自分の“手元”から

デザイナー新、一目でわかる
“リサイクルブランド”

牛乳パックは、飲む→洗う→乾かす
→リサイクルデザインボックス
ティッシュに→使う

残念ながら
一度使ったティッシュは
リサイクルには向きません。
使い捨てなら再生品を！

リサイクルデザイン ボックスティッシュ



200組400枚入り/1個

1ケース50個入り (5個1組×10パック) 3,675円 (価格は市内送料・税込みです)
*ご注文は1ケース以上でお願いします。11ケース以上の場合、1ケースあたり
3,465円になります。1パック (5個) あたりに換算すると347円から368円です。
*市外への発送は別途料金がかかります。

もったいない！ティッシュは使い捨て！
だから作りました
“牛乳パック100%の再生品”

グループ購入のおすすめ

「10パック (50個) は、多すぎる」
と思ったあなた。グループ購入という
方法もありますよ。

例えば5人で購入すれば、1件 (1家族)
あたり2パック (10個) というほど良
い数。町内会や子供会などおおぜいの仲
間を集めれば、一度に大量購入もできる
かも。11ケース以上だと、お得な割引
価格になります。玄関先までお届けする
ので、たいへん便利です。

●ご注文・お問い合わせは
横浜資源リサイクル事業協同組合
電話/045-444-2531
FAX/045-444-2532

ただいま子育て奮闘中！その27

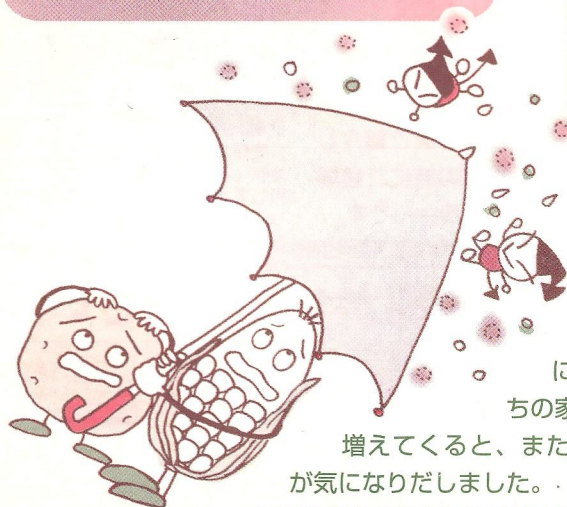
鶴田 由紀

プロフィール

● 鶴田由紀 名古屋在住 訳書（共訳）に「生物多様性の危機」（ヴァンダナ・シヴァ著 明石書店）。「ただいま〜」は環境配慮の視点から子供と育児を取り巻く状況を考える隔月連載エッセイ。

ニッポンのお菓子事情

子どもにはスナック菓子？



お菓子のことは何度か書きましたが、息子が5歳になり、お友だちの家との行き来が増えてくると、またまたその存在が気になりました。

よそのお宅で出されるのは大体スナック菓子。普段食べているから友だちにも出すのでしょう。子どもたちも大好きです。

でもちょっと待てよ。袋の裏の表示を見ると、まあビックリするほどの添加物。どうしてこんなに入れるんでしょう？

スナック菓子って、ふわふわサクサクしてて、カロリーが多い割に、沢山食べないと満足できないと思いませんか？食べていると癖になってくるとも言えますね（やめられないとまらない、と言うコピーの示すように！）。そして噛んでみるとサクサクがねちょねちょに変わり、なんだか歯にまとわりついてくる。

ふわふわサクサクな食感は、小麦粉やトウモロコシ粉といった主原料をほんの少しだけ使い、添加物と油を沢山使って膨らましているからでしょう。空気ばかりで、なんだか誤魔化されてるみたいな気がします。ねちょねちょは虫歯のもとになりそうだし。栄養もぜんぜんなさそう。

まがい物ばかり

スナック菓子の元祖（？）ポテトチップとポップコーンも、添加物なんか必要ないのに、大抵は沢山の添加物を使っています。ポップコーンは、ネイティブアメリカンがイギリスから来た白人に作り方を教えたんだそうです。その頃は添加物なんて入れてるわけないですよ。

今のほとんどのスナック菓子は、添加物どっさりで相当健康に悪い。これを子どものおやつに毎日与えるなんてちょっとどうかと思うのですが……。

余談ですが、日本はチョコレートもカカオ豆の比率が低くて、ほとんどがいわば偽物。菓子パンを油や添加物で膨らませてるのはスナック菓子と同様。おせんべいは空気ばかりのふわふわスナック菓子風。ケーキもほとんどは乳化剤で膨らませたインチキ。どういうわけか、まがい物ばかりが大出を振っているのが実状です。

子どものおやつは、焼き芋とか焼き餅とか、お腹にたまって栄養があって油分の少ない物が良いですよ。昔ながらの黄粉や胡麻を使ったお菓子、スーパーでも売ってますよ。遊びに来た子に出すと一瞬戸惑うけど、美味しいって言ってくれます。

アニメのキャラクターのシールが付いてたり、テレビでCMやってたりして、子どもは大手メーカーのお菓子を欲しがるとも思いますが、健康のことを考えたら、まあたまご馳走くらいにしておいた方がいいんじゃないっすか。

それ行け

今月から掲載が始まります

りくみちゃん [その1]

かわいい2つの
オダング頭♪



背中には…羽根？
手には葉っぱのステッキ！

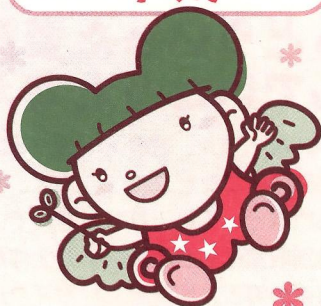
胸にはキラめく
3つの星！！！！



アナタはダレ…？

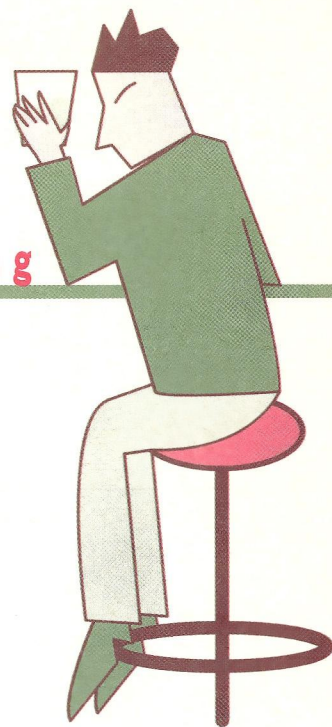


ワタシの名前は **りくみ** ですくみ〜！



リサイクルデザイン
キャラクター

名前：りくみ
人間なの？：地球の精霊のひとりです。
人間でいうと小学生ぐらい。まだまだ見習いの精霊。
誕生日：10月20日 リサイクルの日（天秤座）
性別：人間でいうと女の子
血液型：不明
身長：だいたい10センチ。手のひらの大きさぐらいかな？
体重：ひ・み・つ！
趣味：昼寝、絵日記を描くこと
特技：エコレンジャーを見つけること
好きな言葉：もったいない！
好きな食べ物：なんでも大好き。
嫌いな食べ物はありません。
嫌いな物：カミナリ。だって怖いでしょ？
嫌いな言葉：使い捨て○○



お酒と上手につき合うための、エコロジーcooking

年末、年始に向けて、お酒の席が増えるこの時期、体調不良と感じても、つつい、食べすぎ、飲みすぎで、胃腸・肝臓はフル回転。顔は笑っていても、内臓は悲鳴をあげているかもしれません・・・なんとかお酒と上手につき合いたいものです。

二日酔いの原因は、排尿および発汗過多による脱水症状。尿とともに、貴重なビタミンやミネラルが排出されたり、また、逆に食べ物から取り込めるはずの、ビタミン・ミネラルの吸収・代謝が妨げられたりするそうです。こうした栄養素を、補う必要があります。

お酒をいただくときは、水を飲みながら、食事をとりながら、アルコールが血中に取り込まれるのを遅らせ、肝臓に、アルコール処理に必要な時間を与え、お酒を飲んだら、果物や野菜ジュースで、ビタミン・ミネラルの補給に心がけてください。また、時には胃腸の休息のため、お粥や飲み物だけで、1食を済ませるのもいいかもしれません。日頃、捨てられがちな部分にも、ビタミン・ミネラルが含まれています。上手に利用して、年末年始を、元気に乗りきってください！

陳皮汁

材料 2人分

陳皮（みかんの皮を天日干ししたもの） 10g
しょうがの皮 少々
水 400cc
おこのみで、蜂蜜 少々

作り方 鍋に、材料を入れ、10数分煮出す

おこのみで、蜂蜜を加える



フレッシュジュース

材料 2人分

大根おろし（皮つきでおろす） 100cc
りんごジュース 200cc
おこのみで、蜂蜜 少々

作り方

材料を合わせ、好みで蜂蜜を加え、甘さを調整する



「エコ・クッキング」は東京ガス株式会社の登録商標です。

読者の声

横浜市資源リサイクル事業協同組合・リサイクルデザイン編集室さま

真夏には、^{*}山ノ内の見学会でお世話になりました。

実はあの日の前日、わが町内会でごみの分別収集の説明会があり、帰りにはお土産に、45リットル用の大きなごみ袋をもらって帰りました。その次の日があの日の見学会。きちんとリサイクルされれば、ごみが資源になる！ということを実感できましたので、早速10月の分別収集に向けて集め始めました。いままでは、1回の収集日にかんがりのごみを出していたのに、分別をはじめたら、でるのは生ごみといくらかのごみだけになりました。（もちろんすでに、牛乳パック、トレー、ビン・缶、小さな金属類、紙類、古着などは分別でそれぞれに出していました）いかにプラスチック類が生活に密着していたか、改めて知らされました。

集めたプラ資源？（洗ってありますので臭ったりしません。念のため）と離れがたくて！記念撮影をしました。『ヨコハマG30』と書いてある袋を基準にみていただくとどれ

くらいの分量か、検討がつくと思います。3・5人家族（上の子はたまに帰宅）の我が家で8月11日～10月5日までのプラ類です。調理ででたプラのものは、食器洗いの最後の洗剤液で洗い、つるして乾かしました。“こんなにでるごみがきちんと回収されてもう一度生まれ変わるなら”と想像すると、なんだかワクワクします！！(^^)!

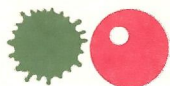
資源リサイクルも、軌道にのるまで大変なご苦労があるかと思いますが、世の中が明るくなるお仕事ですので、ぜひ皆さまにがんばっていただきたいと思います。

サポーターとして陰ながら応援しています。

港南区／竹下幸子

^{*}8月に行われたサポーターズミーティング





RECYCLE Design

リサイクルデザインのロゴマーク

2つの円形は血管を表しています。右の赤い円形が動脈、左のにじんだ円形が静脈。私たちは、産業全体の中の静脈部分を扱っていますが、静脈の正常化だけでなく、動脈の正常化も同時に目指していきたいと考えます。

●リサイクル標準価格表

2004年11月現在
日経11/28

品名	買入価格	業者の売値
	1キロ当たり	1キロ当たり
新聞	*** 0円	5円
雑誌	** 0円	3円
段ボール	** 0円	3.5~4円
衣類くず	** 設定不能	0~1円
アルミ缶	**** 10~15円	
小学校アルミ缶回収	40~60円	

- * 集団回収には「買入価格」を適用 ** 有料
- *** 有料の場合あり **** スチール缶と選別済の価格
- ★ 500キロ以上集団回収する団体の適用価格です。取引条件により多少変化します。
- ★ 事業所から発生したものは集団回収の対象になりません。事業所ごとに業者と直接ご相談ください。
- ★ 集団回収以外の段ボール回収は、1回3000円以上の手数料がかかります。段ボールは必ず束ねて出してください。
- ★ 小学校アルミ缶回収は、100kg以上の場合・小学校のみ適用。専用の回収袋を使用。現金化のほかにも車いす（250kgで）にも交換できます。

INFORMATION INFORMATION INFORMATION

編集室から
昨年、無事1年間休むことなく月刊リサイクルデザインを発行することができました。おかげさまで8月発行分で10周年、120号を迎えることもできました。あいかわらず制作はタイトなスケジュールで進行しておりますが、最近の紙面では、読者のみなさんからの声をお届けしています。読者のみなさん、編集室にはいろいろなお問い合わせの電話がたくさんかかっていますので、「これは誌面で使えそう!」と思ったら遠慮なく掲載させていただきます（もちろんお名前は伏せますが）。10月に先行6区で15品目の分別収集が始まるからは、特に電話が多くなったと感じます。大変な思いをしていらっしゃる様子が電話越しに伝わってきます。4月からの全市での取り組みに備え、本誌でも少しでもみなさんのお役に立てる情報を発信していきたいと思っております。それでは、2005年もよろしく願いいたします。

リサイクルデザインサポーター 協力会員募集!

●横浜市資源リサイクル事業協同組合

(リサイクルデザイン発行母体)では、協力会員(通称リサイクルデザインサポーター)を募集しています。リサイクル・環境教育・街づくりに関心のある方、自然環境との共生にお知恵のある方。リサイクル情報誌「月刊リサイクルデザイン」を通じて、リサイクル問題の現状や、「循環型都市よこはま」づくりに関して、一緒に考え実践していきたいと考えています。

リサイクルデザインサポーター登録の方へは、組合イベントのご案内や情報誌「月刊リサイクルデザイン」を毎月無料でお送りいたします。

●申込方法

お申込は、FAX・メール、またはお電話で、下記資料請求先へ

●資料請求先 横浜市資源リサイクル事業協同組合

TEL 045-444-2531
FAX 045-444-2532

『リサイクル今とむかし』リサイクルデザイン 別冊

月刊リサイクルデザインでは、2003年1月の100号記念号で「リサイクルの今と昔」を特集しました。好評につき、その内容をいちだんと豊富にして構成し直し、あらためて、月刊リサイクルデザイン別冊『リサイクル 今とむかし』を発刊しました。イラストを使って、子どもたちに分かりやすく、江戸時代のリサイクルから現在のリサイクルまでを紹介しています。



月刊リサイクルデザイン別冊

※グリーンバザール 価格 **350円 (税込)**
(南区六ツ川)にフルカラー24頁置いてあります ※送料は別料金になります

FAX 045-444-2533 (編集室)

Eメール mail@recycledesign.or.jp

月刊リサイクルデザインは次の場所に置いてあります

●マリンスポーツデスク・リップル(鶴見日新ビル2F) ●グリーンバザール(南区六ツ川) ●地酒 篠原屋(港北区篠原) ●神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店 ●損保ジャパン横浜支店 ●東京ガス環境エネルギー館 ●マルエツ井土ヶ谷店・大倉山店 ●相鉄ローゼン三ツ境店・港南台店・大口店・二俣川店・緑園都市店・いずみ中央店・山手台店・白根店食品館・モザイク港北店・六ツ川店・釜利谷店・和田町店・左近山店・瀬谷店・いずみ野店・弥生台店・笹山店・東寺尾店・富岡店・ひかりが丘店・希望ヶ丘店・並木店・南まきが原店・中田店・南瀬谷店・ひなた山店・磯子店・オルト新子安 ●マイカル天王町サティ ●ジャスコ駒岡店・金沢シーサイド店 ●カフェ社(港北区日吉) ●きまま舎(緑区霧が丘) ●うどんカフェ(青葉区こどもの国) ●さくら歯科クリニック(オーケー港北ニュータウン店2F) ●リサイクルショップ「トロワの森」 ●横浜国立大学生活協同組合大学会館店・工学部店 ●神奈川県中小企業団体中央会(中区尾上町) ●リセールショップ遊眠 ●Weショップ旭(旭区中希望が丘) ●Weショップかながわ大口店(神奈川区大口通) ●Weショップかながわ六角橋店(神奈川区斎藤分町) ●Weショップこうほく(港北区大豆戸) ●Weショップほどがや天王町店(保土ヶ谷区天王町) ●まあじょうむ(港北区綱島)

月刊 リサイクルデザイン No.124

発行日: 2004年12月25日

発行所: 横浜市資源リサイクル事業協同組合

発行人: 秋元康男

〒221-0054

編集人: 工藤健一

横浜市神奈川区山内町13番地

編集室: 戸川孝則・竹澤留美

TEL 045-444-2531/FAX 045-444-2533 (編集室)

広報企画委員会: 山岡秀明・武松昭男・松澤嘉継

制作: (企) エコ・アド

杉山宜利・芦澤博志・宗村隆寛

印刷: (株) 横浜プリント

栗原清剛・大内 敦

月刊リサイクルデザインは新聞古紙100%の再生紙と環境にやさしいSOYINK(大豆インク)を使用しています。

